

<p>新規就農者の素顔</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p>
<div data-bbox="161 232 775 692" data-label="Image"> </div> <p>氏名：岡 浩介（おかこうすけ） 住所：宝塚市 大原野 年齢：48 歳</p>	<p>農地：30a（借地 30a） 施設：ビニールハウス 20a 経営内容： ・ トマト 15a ・ ほうれんそう 20a ・ キュウリ 4a 労働力：本人、妻 出荷先：JA直売所、量販店、市場</p> <div data-bbox="935 562 1318 846" data-label="Image"> </div> <p>チゲンサイの間引き中</p>
<p>就農から現在まで</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p>
<p>1999年 離職 宝塚市のトマト農家で2年間農業研修 2001年 就農 2009年 ハウスを増設 現在に至る</p>	<p>○良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サラリーマン当時のストレスから解放されたためか、その当時より健康になった気がする。 ・ 都会では味わえない人間関係（祭等）が築けた。 <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作物を植えてから収穫するまでにお金がかかり、現金が手元に入るのが先になるのでやりくりが大変。 ・ 思ったとおりになかなか作物は育たない。
<p>農業をめざした動機</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さい頃から中学生くらいまで、祖父母の田んぼに田植え、稲刈りをよく手伝いに行っていた。機械のない、この時代に親戚が集まったの共同作業で、これが楽しい思い出となり農業にあこがれを感じた。 ・ 40歳の手前で今後の人生を考えたとき本当にやりたいこと（農業）をやろうと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術の習得、土地の確保、資金の準備がしっかりしていないとしんどい。とくに技術はきちんと身につけてから就農した方がいい。 ・ 農業を続けていくには地域にとけこむ事が重要であると考えている。集落の出役（溝掃除等）には必ず出席する。また、その他の地域の行事（秋祭等）にも積極的に参加する。